

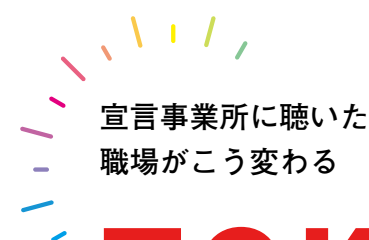
宣言事業所に聴いた
職場がこう変わる

TOKYO

働きやすい福祉の 職場宣言

活用ハンドブック





TOKYO

働きやすい福祉の 職場宣言

活用ハンドブック

宣言事業所に聴いた 職場がこう変わる！事例 10 選

1 採用

働きやすい職場であることを宣言事業で PR	6
人材派遣会社に頼らない、人材確保の仕組みづくり	8

2 人材育成

園の理念を共有、職員の定着率がアップ！	10
マニュアル整備が、働きやすい職場づくりのカギ！	12

3 仕事の評価と処遇

職員評価を明確化して、賞与に納得性を	14
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	16

4 ライフ・ワーク・バランス

「ライフ・ワーク・バランス」の整備で人材の確保・定着を実現	18
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	20

5 職場環境・風土

職員が紹介したくなる職場へ！	22
宣言事業で、職員の意識改革	24

公表通知書、宣言マークの活用事例	26
------------------	----

未宣言法人さまへ	
「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」4 大メリット	28

求職者の方へ

福祉の職場のイメージは？

求職者のみなさんの中には、「福祉の職場」と聞いて「仕事が大変」「お休みが少ない」などのイメージをお持ちの方もいるかもしれません。しかし、実態はずいぶん変わってきています。国や自治体、そしてそれぞれの法人や事業所は、福祉の職場の職員が働きやすさを実感できるよう、給与等の処遇改善を図ったり、キャリアアップの仕組みを整備したりと、様々な取り組みを進めています。

「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」とは？

東京都では平成 29 年度から、「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言事業（以下、宣言事業）」を開始しました。東京都独自の「働きやすい福祉の職場ガイドライン」（以下、ガイドライン）を踏まえた取り組みを行っている事業所を「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言事業所」として、「ふくむすび」にて公表・紹介を行っています。

求職者向けに具体的な事例を紹介！

本ハンドブックは求職者の方に向けて、「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」を活用して働きやすい職場づくりに取り組む福祉の職場について、具体的な事例をお伝えしています。ただし、ここで紹介しているのは宣言事業所のほんの一例。そして宣言事業所はどんどん増えています！ぜひ「ふくむすび」にアクセスして、各宣言事業所の情報を見てみてください。きっと求職活動の参考にしていただけるはずです。



ふくむすび

<https://www.fukushijinza.metro.tokyo.lg.jp/>



「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」とは？

求職者のみなさんの中には、「福祉の職場」と聞いて「仕事が大変」「お休みが少ない」などのイメージをお持ちの方もいるかもしれません。しかし、実態はずいぶん変わってきています。国や自治体、そしてそれぞれの法人や事業所は、福祉の職場の職員が働きやすさを実感できるよう、給与等の処遇改善を図ったり、キャリアアップの仕組みを整備したりと、様々な取り組みを進めています。

「働きやすい福祉の職場ガイドライン」とは？

働きやすい職場づくりといっても取り組みは様々です。そこで東京都は、働きやすさの指標となる項目を明示した「働きやすい福祉の職場ガイドライン（以下、ガイドライン）」を策定し、このガイドラインを踏まえた職場づくりに取り組む事業所を「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言事業所」として応援しています。

宣言事業所に聴いた 職場がこう変わる！！

本ハンドブックでは「働きやすい職場」を目指す法人・事業所が「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」に取り組み、様々な課題を発見、解決することによって、どのような成果を得たかということを事例を通して紹介しています。求職者の方に、より興味を持ってもらえるように、そして今いる仲間により長く働いてもらえるように、「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」に取り組んでみませんか。申請をお待ちしています！



公益財団法人東京都福祉保健財団 TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言事業

<https://www.fukushizaidan.jp/204sengen/>



法人・事業所の方へ

Case 1 ○○○○

事業所の悩み・課題

職員募集をかけても求職者からの反応がない

取組を開始したきっかけは？

新卒の採用がなかなかうまくいかない。
就職イベントにも参加しているが、事業所の強みを
うまく広報できず、**人が集まらない**…。



取組の段階と具体的な取組内容は？

Step
1

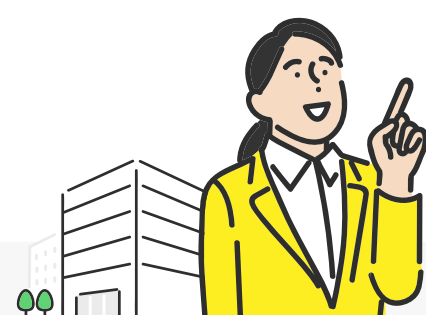
採用につながるような広報・PR ができていなかった。

Step
2

宣言事業に取り組み、宣言マークや公表通知書を事業所内外に掲示、
広報活動を進めていった。

Step
3

また専門学校などの養成校の先生にも具体的な取り組みについて、
丁寧な説明を行っていった。



あっ！公表通知書だ。
「働きやすい職場づくり」に
取り組んでいるんだな。



取組時の障壁やそれをどのように乗り越えたか？



職場体験と情報発信で定着率向上

宣言事業に取り組む中で、これまで課題として認識していなかった「採用前の職場体験や職場見学」「職場環境に関する情報発信」などが採用活動において重要であることがわかりました。

そこで、東京都の「介護職員就業促進事業」に応募し、介護業務への就労を希望する方の受け職員の定着率が上がることで、人材派遣会社からの派遣人数を減らし、紹介料を抑えることができるようになりました。

また、これまでは職員の離職が多かったり、派遣社員が短期間のみの採用であったりと、仕事入りを半年間行いました。半年間受け入れることによって、現場の雰囲気を知ってもらうことができました。

また新規採用者だけではなく、今いる職員の定着率を高めていく取り組みにも着手しました。

具体的には、働き方の選択肢を増やし、非正規職員として働いていた職員を、場合により、時短勤務のまま正規職員に引き上げる仕組みを設けました。

取組の
成果

養成校との関係が深まり、
求職者の応募数も増え、
安定した新卒採用ができた！



今後の課題

広報・PR のさらなる強化を図り、SNS や動画コンテンツを活用した新たな戦略を検討します。また、採用チャネルの多様化を進め、就職イベントや養成校との連携に加え、オンライン採用や職員の紹介制度の活用を強化します。さらに、職場環境の改善に努め、職員満足度向上のため定期的なアンケートを実施。インターンシップの受け入れ体制を整え、具体的な業務体験やフィードバックを充実させ、養成校との連携を深めながら、より多くの求職者に魅力を伝えていきます。



事業所としての抱負

求職者に選ばれる職場づくりを目指し、宣言マークの活用に加え、職員の声や実績を発信する広報を強化します。採用活動を通じて福祉業界の魅力を伝え、より多くの人材確保を図ります。また、地域の学校や企業と連携し、福祉への関心を高める活動を展開。地域イベントやボランティア活動を通じて認知度向上を目指します。さらに、新卒・中途採用やキャリアアップ支援を充実させ、職場環境を継続的に改善し、長く働ける職場づくりを実現します。

公表通知書、宣言マークの活用事例

公表通知書の活用



施設に関わるすべての人に PR

事業所を訪れたすべての人々に見ていただけるように、玄関を入ったところに掲示。
ご利用者やそのご家族、地域の方などにも宣言していることを知ってもらえ、ご家族からは「職員にも配慮していて、安心して家族を預けられる」とのお言葉をいただいています。

職員に特化した PR

職員に「働きやすい職場」であることをアピールできるように、宣言事業に取り組み始めました。そのため、職員にこの取り組みが伝わるように、毎日職員の目につくところに公表通知書を掲示しています。



宣言マークの活用



名刺



名札

名刺・名札

名刺や名札に宣言マークを印字。名刺に合うシールも準備しているので、必要な時に貼ることもできます。
また宣言マークは電子データでお渡ししますので、各事業所のデザインに合わせて活用することができます。

パンフレット・求職者向けリーフレット

法人パンフレットや求職者向けのリーフレットにも掲載することができます。
「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言事業」を知らない求職者からも「これは何ですか?」と興味を持ってもらえることが多いです。採用説明会にいらっしゃる学校の先生などにも興味を持ってもらえ、宣言マークを見て、「安心して学生を送り出すことができます」とお声がけいただくことがあります。



ウェブサイト

パンフレット同様、ウェブサイトにも掲載することができます。
また、「ふくむすび」へのリンクを貼っていただくこともできます。

マークの掲載

宣言事業所になると、様々な大きさの宣言マークのシールが配付されます。
それらを玄関口や、その他来客の方々の目につくところに貼っていただくことができます。



送迎車などにも
ご活用いただいています

